



(1) On Board of Shimonoseki-Fuzan Ferry Boat.

初めて 朝鮮を觀る

京城に於ける 帝國鐵道協會 第二十四回

總會に列して

一記者



(2) Fruit Bender.

Twenty Fourth Annual Meeting of Imperial Railway Society Held at Keijo, Korea By the Editor of Koji Gaho.

第一信 連絡船

推進機の音は一種のリズムで海の底から穩かなうなりを響かせながら、3,600噸の我が昌慶丸は釜山に向つて進んでをる。

喫煙室の椅子に凭つて下關港外を見るに、門司小倉の港は山を負ふて暗夜の空にホタルの群がる様な點々たる燈火が殆ど詩の宮殿の様に眺められる、何と云ふ穩かな海のながめであらう。

八幡製鐵所が鐵をころかす溶鑪の焰さへ遙かに眺めるに平和な照明の如く見える、何と云ふ平和な眺めであらう。

昌慶丸は内部大洋丸にも劣らぬ美しさで、船はもう港外に出た、漸く波のうねりが船にこたへる、談話室や喫煙室や夫々三々五々の人々は何のクツクもなく明日を楽しく待つて語り合つてをる、二百人程の鐵道協會員一行はすでに過半は船室に入つて眠つた、サア僕もねやう。(五月二十日午後十二時半)

第二信 釜山上陸

二十一日午前七時昌慶丸は釜山沖を進んでをる、協會員は何れも枕を離れて上陸の仕度をする、釜山港の棧橋は大分腐れて一部は破損した處も見える。

船から棧橋にロープを渡して引寄せせるプロペラーの廻轉で海水が濁る、一行はドヤドヤとデッキに出る。

上陸の際は朝鮮鐵道局からの案内者に連れられて何處が税關であつたかさへ知らずに通つてしまふ。

釜山上陸するに直ぐに朝鮮情調を見やうと眼を皿にしてをるが、朝鮮人の子供があの子で客の手荷物を運びに来るの、白服の人々が眼についたのみだ。

棧橋からゴロゴロ釜山ホテルに繰込んで樓上で簡単な朝食をする、之は釜山商業會議所の好意によるものである。

第三信 京釜線車中より……1

釜山からの汽車は廣軌の二等寢臺車で座席も大陸式にユツタリ出來てをる、朝鮮鐵道局の好意で案内の人々が乗込んでるて用意周到に座席から手荷物から食事の世話迄してくれる。内地の急行列車に比して天井も高く内部も廣いので感じは良い、窓の硝子戸が二重になつてをるのは吹雪を防ぐ爲であらう。

朝鮮も今では開けてゐるに云ふ事は兼々聞いてをつたが、京釜線の列車から窓外を今眼の當り見て此の豫期に反する事甚しいのに驚

いた。

ボブラの木がヨロタタミ長く立つて、風にまかせてなびく有様はまことに朝鮮の人々の氣風を其儘に表現してをるのではないかとも思はれる。

アカシアの木もボブラの木は鐵道の沿線に殆んど全體に列んでをる、水田や畦道や道路又は民家の前後なみに、若し木があつたさすればそれは必ずボブラかアカシアである。

ボブラミアカシアの木は朝鮮の人々には家屋建築材となり、燃料となるもので最も大切なものであるらしい、之は京城に着いてから商品陳列場で其用途を知つたわけである。

内地で見馴れてをる松さか、杉さか、槻さか、檜なぎは殆んど見付らない、然し山には處々に松を植林されてをるのを見る、又中には植林されたらしい松が二十尺位にも生長してをるのを見る事もあつた、そして砂防的に芝か何かを規則正しく段々に植付けた山も處々に見えた。乗てから朝鮮の山はハゲ山が多いと云ふ事は充分に聞いてをつたが沿線の山は必ずしもハゲ山のみではない。

京城に着いてから其處を流れてをる漢江のあの廣い河に洪水が溢れて大被害を市街に及ぼした事を聞いたが、之が原因はやつぱり山がハゲ山だからと云ふのであつた、私の汽車の窓からはハゲ山も悲觀する程澤山は見えなかつた。

第四信 京釜線車中より……2

ハゲ山は見えないが河川のダラシのないのは驚いた、殆んど總ての川に堤防らしいものがない、川と田との境すらハッキリしてゐない、川は流れ放題に流れてをるらしい、それから田が實に不規則である、それに灌漑用の小川が出来てゐない、之では田畑の荒れるは當然である。それでも日本に年々五百萬石の白米を内地へ輸出する様になつたと大村朝鮮鐵道局長は總會席上で言はれたが、それは鮮人自身は稻を造る丈で自分達は白米を喰はないで全部賣出してをるからではあるまいか、最も麥や粟も作るのだが農民は殆んどそんな物丈を喰べてをるのではないかとも思はれる。

誰だつたか往の汽車の中で朝鮮通らしい話をしてをつたが、何でも朝鮮人は一年米作をすれば三年間さかはもう作らないと云つてゐた、恐らくそれは昔の話であらう、最も現在でも生活程度が低いから、一度豊作に當つてそれ丈の白米を賣れば、あそこは麥や粟で遊んで喰つてゐられるかも知れない。

河川のダラシない事は以上の通りだが、二ヶ所程に朝鮮人が堤防工事をやつてをるのが見られた、それも實に幼稚な施工でトテモ専門家が設計したものではない。(つゞく)

寫眞説明 (1)は連絡船内のデッキ (2)は京城市内の路傍で菓物を賣る鮮人 (3)は京城に於ける李王家の有名なる秘苑 (4)は二月二十三日秘苑を參觀せる鐵道協會員一行



(3) "Hien," Old Korean Imperial House.



(4) Members of Imperial Railway Society Visiting the "Hien."